目次

3	情報セキュリティにおける脆弱性	2
	3.1 脆弱性の概要	2
	3.1.1 脆弱性とは	2
	3.1.2 脆弱性の種類	2
	3.1.3 脆弱性の識別/評価の仕組み	3
	3.1.4 情報資産、脅威、脆弱性の関係	3
	3.1.5 効果的な情報セキュリティ対策の実施方法	4
	3.2 ネットワーク構成における脆弱性と対策	5
	3.2.1 ネットワーク構成における脆弱性	5
	3.2.2 ネットワーク構成における脆弱性への対策	6
	3.3 TCP/IP プロトコルの脆弱性と対策	8
	3.3.1 TCP/IP プロトコル全般における共通の脆弱性	8
	3.3.2 TCP/IP プロトコル全般における共通の脆弱性への対策	8
	3.4 電子メールの脆弱性と対策	9
	3.4.1 SMTP の脆弱性	9
	3.4.2 SMTP の脆弱性への対策	9
	3.4.3 POP3 の脆弱性	11
	3.4.4 POP3 の脆弱性への対策	12
	3.5 DNS の脆弱性と対策	13
	3.5.1 DNS の脆弱性	13
	3.5.2 DNS の脆弱性への対策	13
	3.5.3 512 オクテット制限への対応	13
	3.6 HTTP および WEB アプリケーションの脆弱性と対策	15
	3.6.1 HTTP および Web アプリケーションの仕組み	15
	3.6.2 セッション管理の脆弱性と対策	15
	3.6.3 HTTP(プロトコル)の仕様による脆弱性と対策	17
	3.6.4 Web サーバの実装や設定不備による脆弱性と対策	18
	3.6.5 Web アプリケーションの仕様や実装による脆弱性と対策	19

第3章は第2章の脅威におけ脆弱性と対策について記載されている 第2章と第3章とは相関関係(脅威と脆弱性)